

平成17年度 年末年始無災害運動実施要領 (2005.12.15～2006.1.15)

スローガン『あわてず ゆるめず 年末年始の安全意識』

林材業ゼロ災運の推進!

ゼロ災でいこう よし!



趣 旨

年末年始無災害運動は、年末年始に多発する傾向にある労働災害、交通労働災害、火災等の災害を防止することを目的に、厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年度で35回目を迎える。

我が国における労働災害の被災者数は、長期的には減少傾向を示しているものの、今なお、年間54万人に上る労働者が被災し、1,600人を超える労働者の尊い命が失われている状況にある。また、近年は、我が国を代表する企業で大規模な事故や災害が続発し、一度に多数の労働者が被災する重大災害が増加する傾向にある。さらに、一般定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合が増加し、約48%に達しており、過重労働による脳・心臓疾患や精神障害に係る労災認定件数も高い水準で推移している。加えて、今後、石綿を使用した建築物等の解体工事等の増加が予測されており、当該作業による労働者の石綿ばく露が懸念されている。

このような状況の中、労働災害や職業性疾患を減少させ、労働者の健康保持増進を図るためには、職場にある危険有害要因を的確に洗い出し、これをなくすよう積極的に取り組むことを経営トップが決意し、その指示のもと関係者一人ひとりにいたるまで自らが安全衛生活動を実行していくことが必要である。

年末年始は、何かとあわただしい時期であり、普段の作業や生活のリズムが変わりやすく、事業場、職場全体が一斉に操業を停止したり、操業を開始するなど、通常では行わない非常作業等が多くなる時期であることから、各事業場、職場では災害防止のための

特別な配慮が必要となる。

一年の締めくくりを笑顔で送り、災害のない明るい新年を迎えるため、「安全最優先」の考え方を基本に、あわただしい時期にこそ、あわてず、ゆるめず、作業前点検の実施、作業手順の遵守、非常作業における安全確認、交通ルール徹底等労働災害防止活動の原点に立ち返って実施することが必要である。

このような趣旨を踏まえつつ、本年度の年末年始無災害運動は、「あわてず ゆるめず 年末年始の安全意識」を標語として展開することとする。

事業場の実施事項

- (1) 経営トップによる年頭の安全最優先の決意表明
- (2) 労働安全衛生マネジメントシステムの確立をはじめとした自主的な安全衛生管理活動の促進
- (3) 就業制限業務及び作業主任者を選任すべき業務における有資格者の充足
- (4) KY(危険予知)活動の実施
- (5) 機械設備に係る定期自主検査及び作業前点検の実施
- (6) 作業開始前ミーティング及び安全衛生パトロールの実施
- (7) 非常作業における災害防止対策の見直し
- (8) はさまれ・巻き込まれ災害の防止対策の徹底
- (9) 職場の整理・整頓・清掃・清潔(4S)の徹底
- (10) 高年齢労働者の安全対策の促進
- (11) 火気の点検、確認等火気管理の強化
- (12) 交通労働災害防止ガイドラインに基づく交通労働災害防止対策の推進
- (13) 石綿障害予防対策の徹底
- (14) 過重労働による健康障害防止のための総合対策、職場におけるメンタルヘルス対策等労働者の健康を確保するための対策の推進
- (15) 飲酒、睡眠等生活リズムに関する健康指導の実施
- (16) 安全衛生旗の掲揚及び年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示
- (17) その他安全衛生意識高揚のため

一年間

皆さんの職場は安全でしたか?

この運動を機会に、安全衛生管理の基本に立ち返り、4S、年末パトロール、年始点検を実施して、年末年始を無災害でいきましょう!

4S

4S(整理・整頓・清掃・清潔)は安全な作業の基本であり、4Sの行き届いた職場では、作業もゆとりを持って効率よく仕事をすることができます。

年末パトロール

ラインの管理・監督者が職場パトロール(職場巡視)を行うことによって、作業者が気付かない危険の存在をいち早く発見し、災害を防ぐことができます。

年始点検

年末年始の休暇が明けて、作業を立ち上げる時は、機械設備に何らかの変化があるかもしれません。低気温による影響を考え、機械類の油圧を重点的にチェックするなど、重点項目を定めて作業点検をするとよいでしょう。

年末年始の労働災害

職場では、年末の点検整備や、年始の立上げ作業など、非常作業が多くなる時期です。さらに、この時期は、「納期に間に合わせる」という急ぎの心理や、「休暇中の予定に思いをはせている」という「ぼんやり」の心理に陥り、ヒューマンエラーを起しやすい状態になります。

交通事故と災害

交通事故でこの時期に多いのは、飲酒運転による事故や、雪道・凍結時におけるスリップ事故です。また、冬は空気が乾燥し、火災が発生しやすい環境になっています。

の行事の実施